

# 平成24年度中間決算について

平成24年11月9日

---



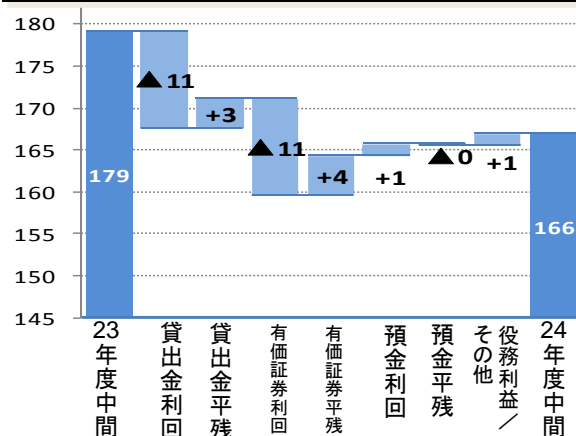
# 平成24年度中間決算サマリー

【単体ベース】

(金額単位:億円 単位未満切り捨て)

	平成23年度中間 実績	平成24年度中間 実績	増減
業務粗利益	192	195	3
うち資金利益	163	149	△ 13
うち役務利益	17	18	0
うち国債等債券損益 ①	12	28	16
コア業務粗利益 (業務粗利益 - ①)	179	166	△ 12
経費	134	131	△ 2
うち人件費	64	64	0
うち物件費	63	61	△ 2
コア業務純益	45	35	△ 10
一般貸倒引当金繰入額 ②	-	5	5
業務純益	58	58	0
臨時損益	△ 14	△ 26	△ 12
うち株式等損益 ③	△ 19	△ 35	△ 15
うち不良債権処理額 ④	1	△ 5	△ 6
うち貸倒引当金戻入益等 ⑤	4	2	△ 1
うち償却債権取立益 ⑥	3	1	△ 1
経常利益	44	31	△ 12
特別損益	△ 1	△ 0	0
税引前中間純利益	42	30	△ 11
法人税等	16	23	7
中間純利益	26	7	△ 19
(信用コスト) ②+④-⑤-⑥	(△ 5)	(△ 3)	(1)
(有価証券関連損益) ①+③	(△ 6)	(△ 6)	(0)
コアOHR	74.7%	79.0%	4.2%

## コア業務粗利益の主な増減要因



## 信用コスト△3億円

DCF先への引当増加により一般貸倒引当金は増加となったが、不良債権の新規発生減少により信用コストは3億円の戻りとなった。

## 有価証券関連損益

	23年中間	24年中間	前年同期比
国債等債券損益 ①	12	28	16
売却益	17	25	8
償還益	-	3	3
売却損	4	-	▲ 4
株式等損益 ②	▲ 19	▲ 35	▲ 15
売却益	0	-	▲ 0
売却損	9	4	▲ 4
償却	10	30	20
① + ②	▲ 6	▲ 6	0

## 中間純利益7億円 前年同期比△19億円

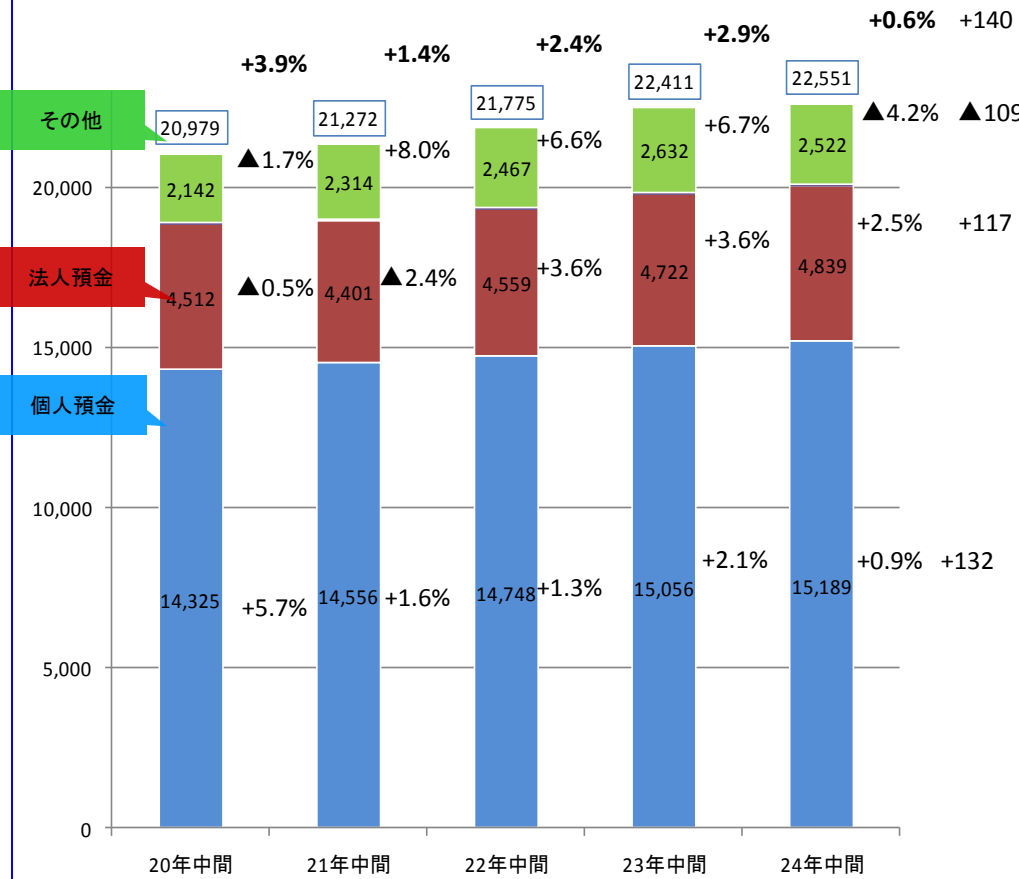
コア業務純益の減少、法人税等の増加により中間純利益は前年同期比19億円減少。

# 預金・個人預り資産の状況

## 総預金(含む譲渡性預金)平残推移

(金額単位: 億円)

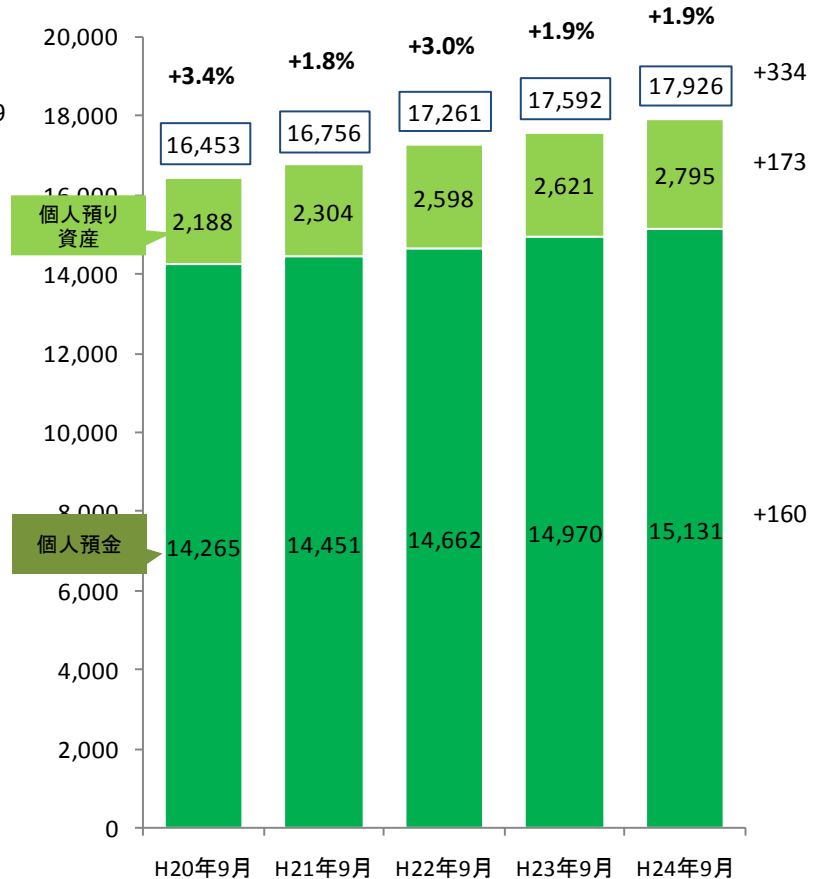
前年比



## 個人預金+個人預り資産残高推移

(金額単位: 億円)

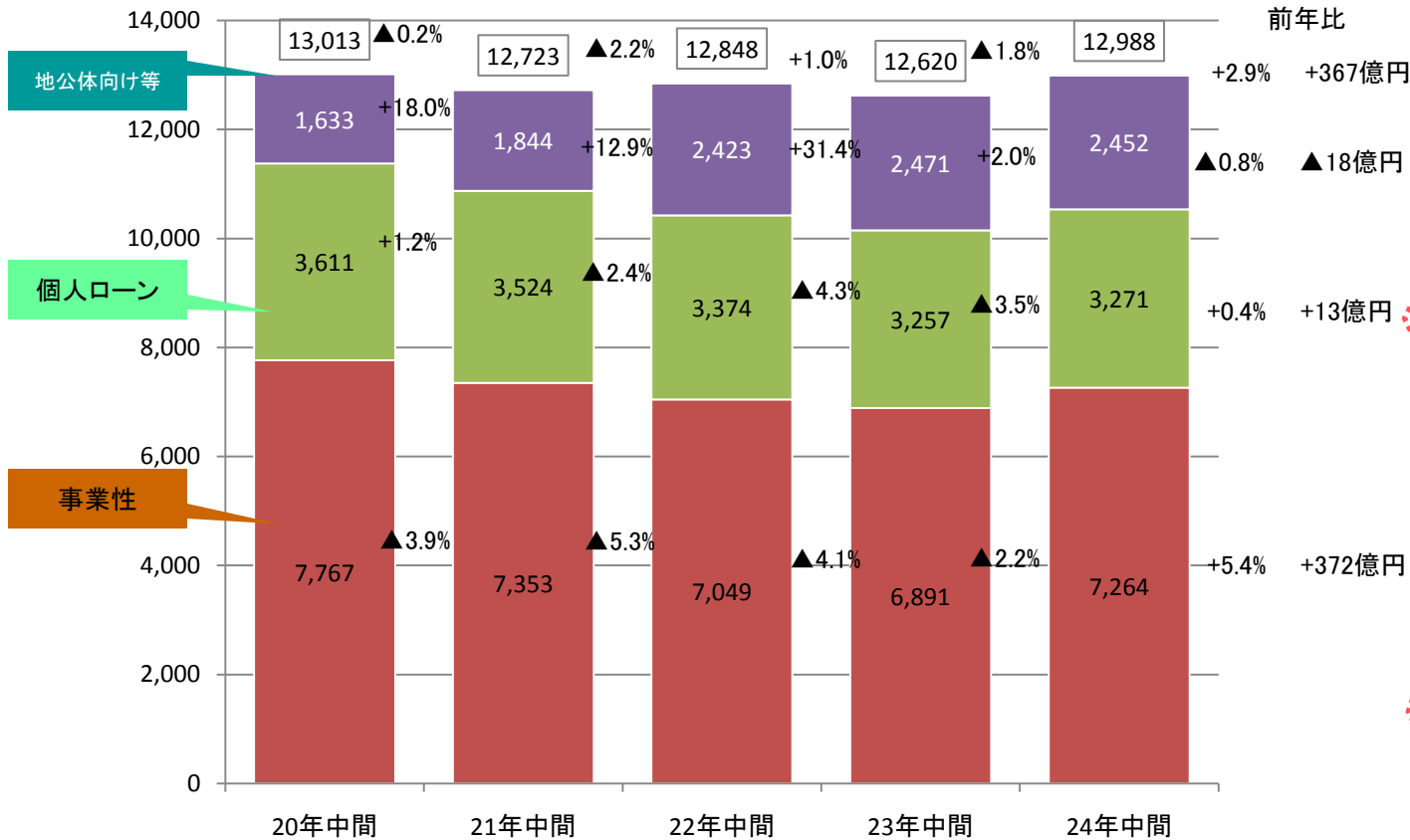
前年比



# 貸出金の状況

## 貸出金平残推移

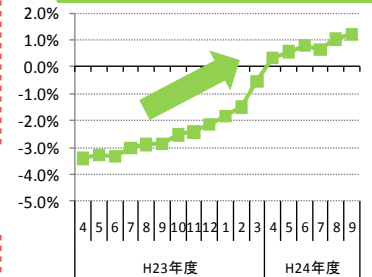
(金額単位: 億円)



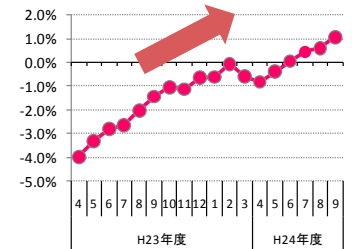
### 県内貸出金の状況

県内貸出金についても減少から増加トレンドへ反転

#### 県内個人ローン月中平残年間伸率



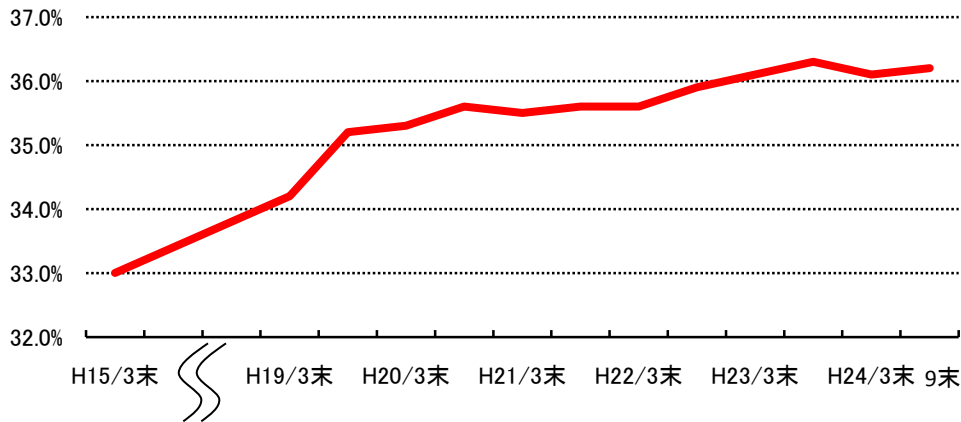
#### 県内事業性月中平残年間伸率



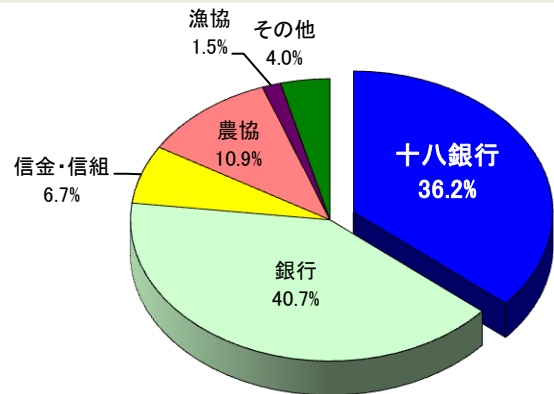
※ パーセント表示は年間伸率

# 長崎県内預貸金シェア

## 長崎県内預金シェア推移



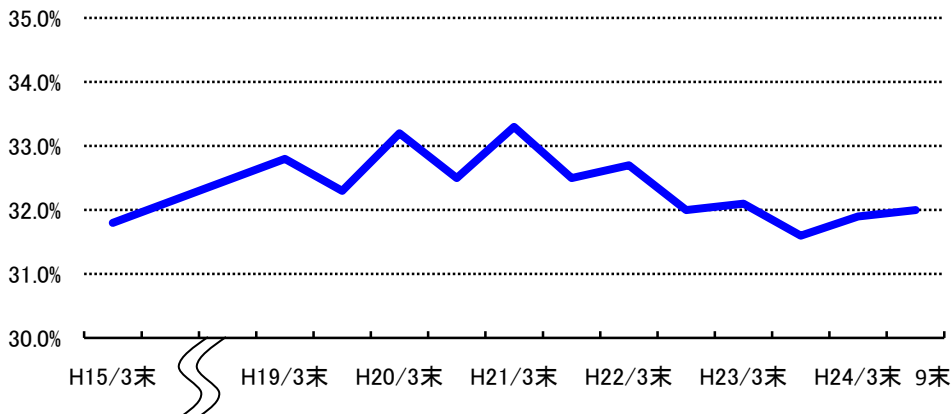
## 長崎県内預金シェア (平成24年9月末現在)



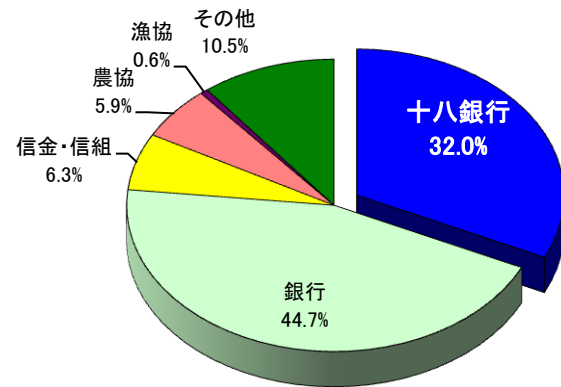
マーケット規模: 58,991億円

※ゆうちょは含んでいない

## 長崎県内貸出金シェア推移



## 長崎県内貸出金シェア (平成24年9月末現在)



マーケット規模: 30,600億円

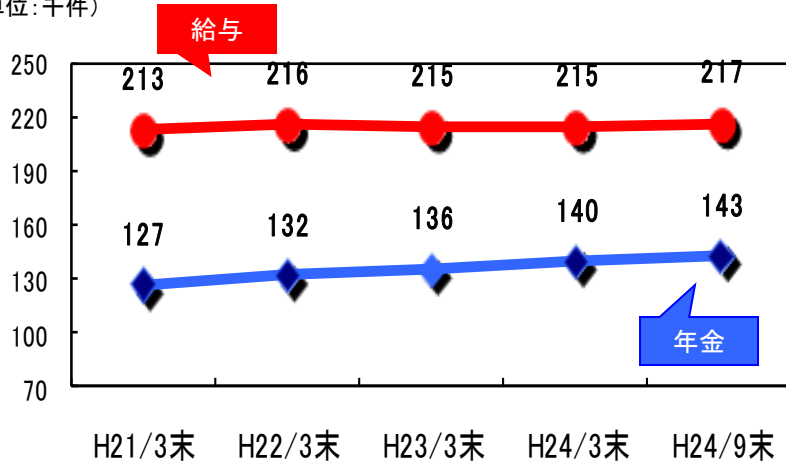
※住宅金融支援機構は含んでいない

(出所) 日本銀行長崎支店「県内業態別預貸金残高」を基に作成

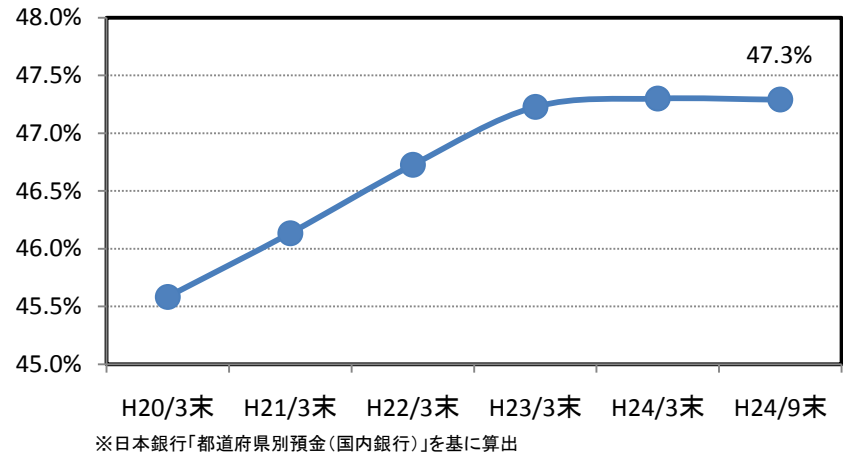
# 個人顧客基盤の状況

## 長崎県内における年金・給与振込指定口座の推移

(単位:千件)

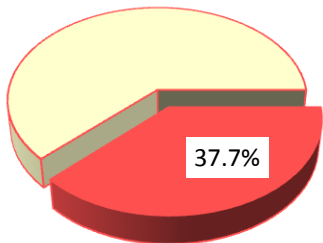


## 長崎県内における個人預金シェアの推移

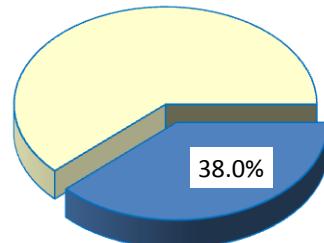


## 長崎県内における取引シェア

給与振込



年金振込



※就業構造基本調査 H19年10月 575千人をベースに算出

※H23年10月現在の65歳以上人口368千人ベースに算出

## さらなる基盤強化に向けサービス強化

### クレジット一体型カード + 給振・年金受取口座のATM手数料優遇

無料化

当行時間外手数料 & コンビニATM利用手数料  
+  
H24.10～ ゆうちょ銀行ATM利用手数料

提携コンビニ

セブンイレブン、ローソン、ファミリーマート、デイリーヤマザキ他

# 信用コスト・不良債権の状況

## 信用コスト推移

※実態ベース (金額単位: 億円)

	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	
					予想	中間実績
信用コスト	160	▲23	▲43	13	3	▲3
一般貸倒引当金繰入額	65	▲57	▲63	▲0	6	5
不良債権処理額	97	39	25	18	0	▲7
個別貸倒引当金繰入額	62	19	14	15	5	▲5
債権売却損	▲0	1	▲1	-	-	-
偶発損失引当金繰入額	11	5	5	2	▲5	▲2
貸出金償却等	22	13	7	1	-	0
償却債権取立益	2	5	5	5	3	1
信用コスト率 (信用コスト/貸出金平残)	1.25%	-	-	0.10%	0.02%	-

## 平成24年度中間期の信用コスト

- 一般貸倒引当金繰入額  
要管理先へのDCF引当が増加した一方、正常先の貸倒実績率低下等による戻入益により純繰入額は5億円。

### 【引当金増減】

正常先	①	▲2億円
その他要注意先*	②	+1億円
要管理先*	③	+2億円
DCF/DDS先	④	+4億円
ネット	①+②+③+④	+5億円

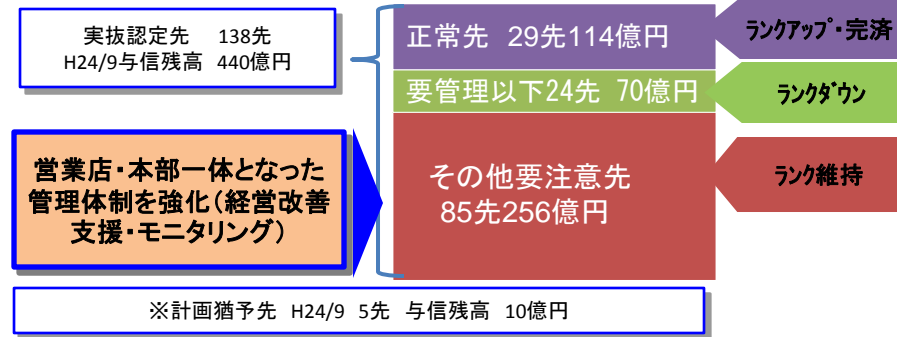
※ DCF/DDS対象先除く

- 不良債権処理額  
破綻懸念先以下の新規発生は低水準で推移。  
個別貸倒引当金、偶発損失引当金の戻りにより  
不良債権処理額は▲7億円。

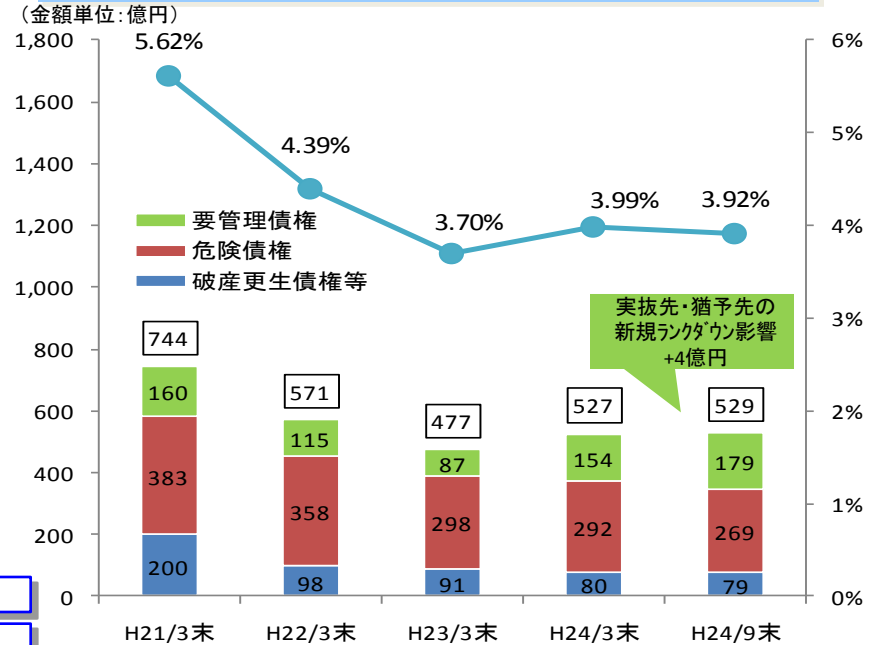
※ その他要注意先の残高・保全率 ( 担保・保証等+引当金/与信残 )

	H23/3	H24/3	H24/9
残高(保全率)	1,398億円(53.4%)	1,220億円(57.8%)	1,188億円(57.3%)

## 実抜計画認定先の債務者区分遷移



## 不良債権残高の状況

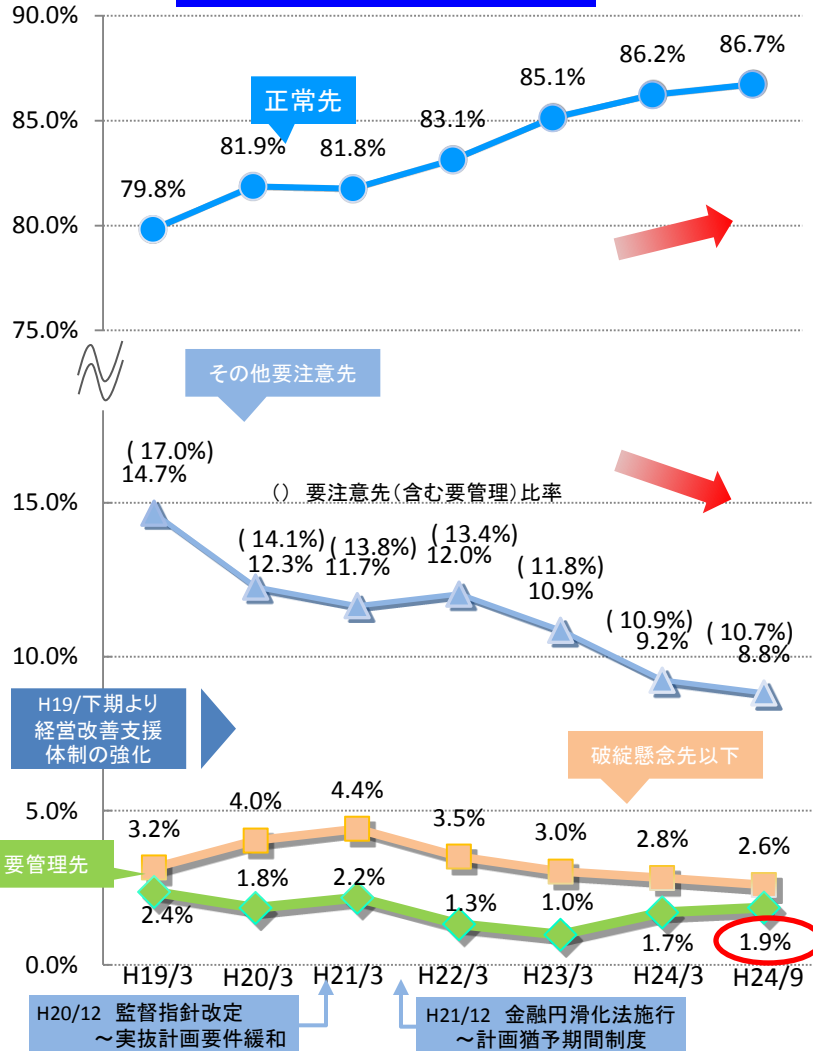


※部分直接償却実施後

# 与信ポートフォリオの状況

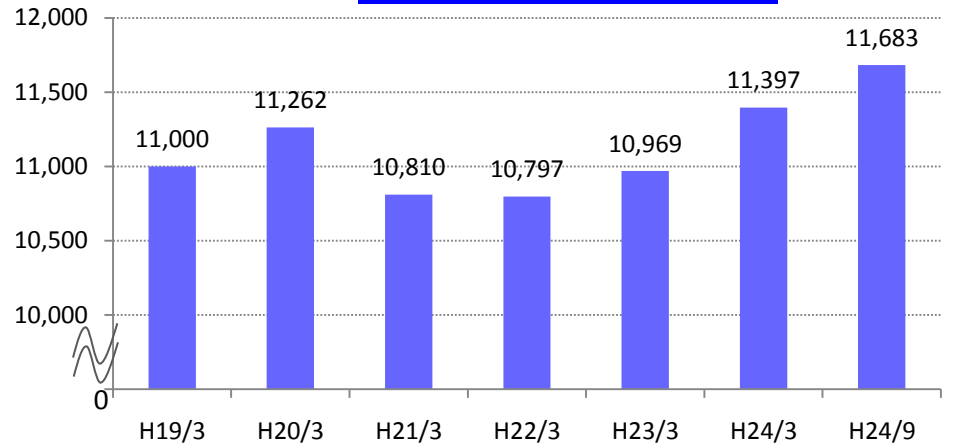
従来からのお取引先への経営改善への取り組みにより、その他要注意先・要管理先及び破綻懸念先以下の残高は減少傾向にあるが、H23年下期において実抜計画認定先からランクダウンが増加。引き続き事業再生のモニタリング、経営改善支援を継続していく。

債務者区分比率推移

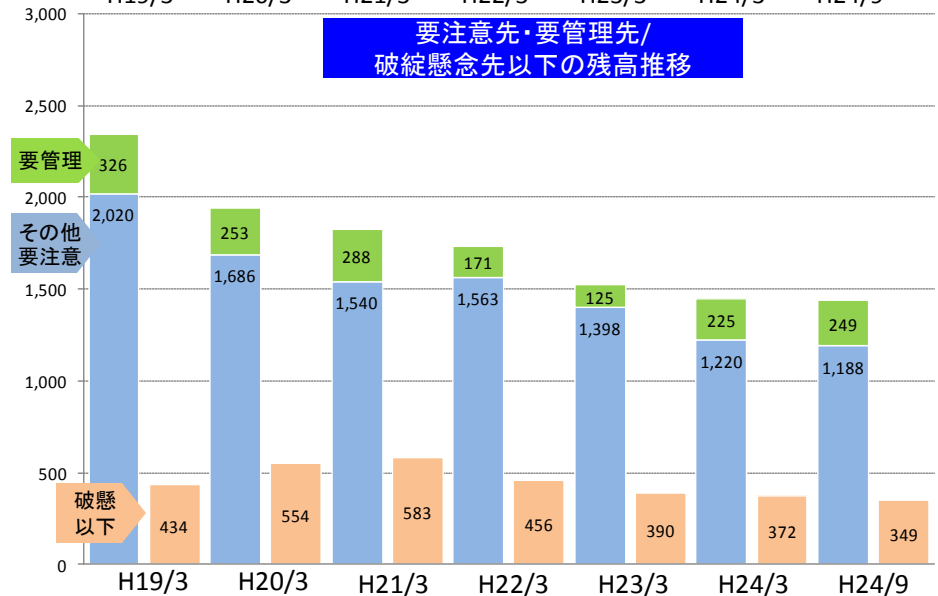


(金額単位: 億円)

正常先の残高推移



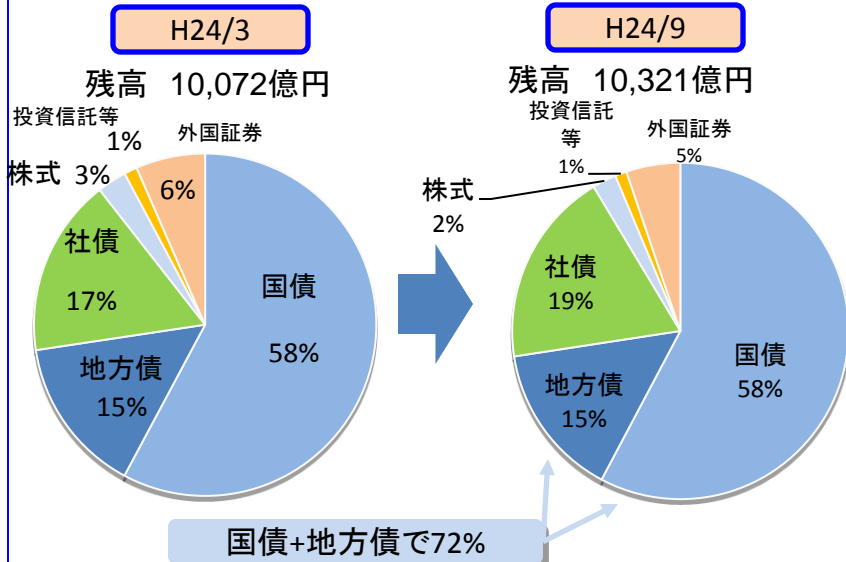
要注意先・要管理先/  
破綻懸念先以下の残高推移



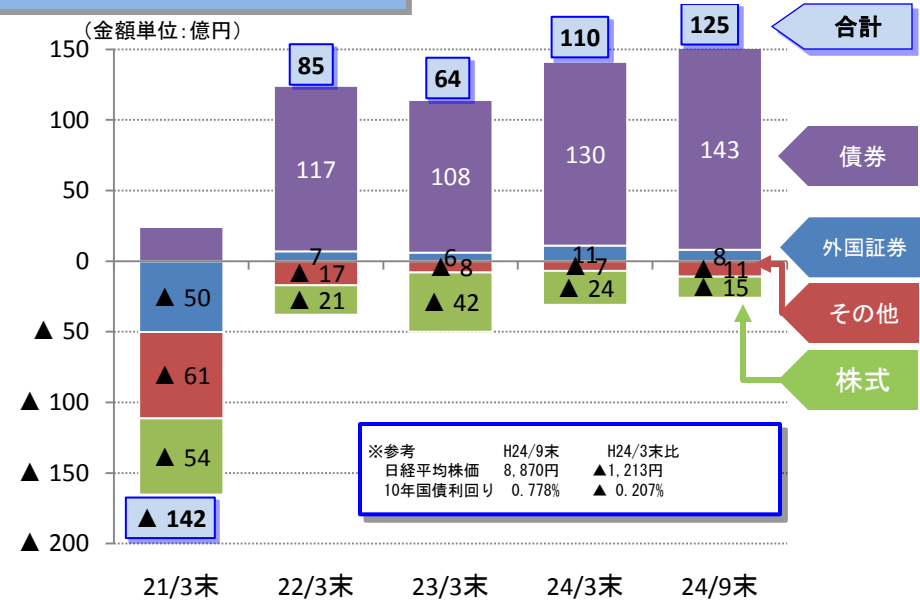


# 有価証券の状況

## 有価証券投資状況



## その他有価証券評価損益推移

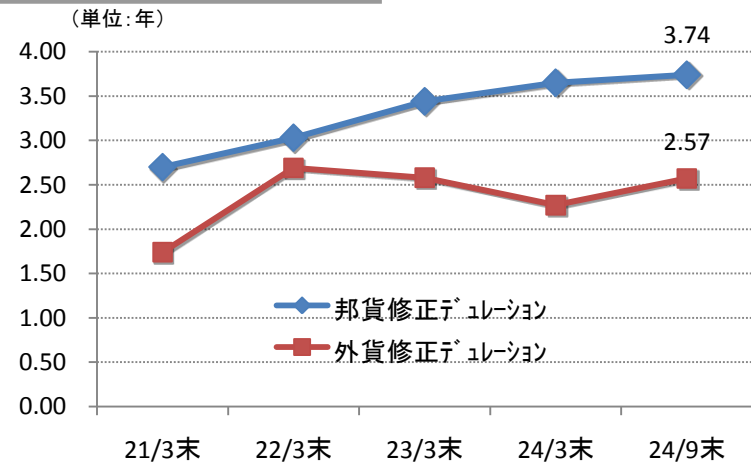


## 海外エクスポージャー

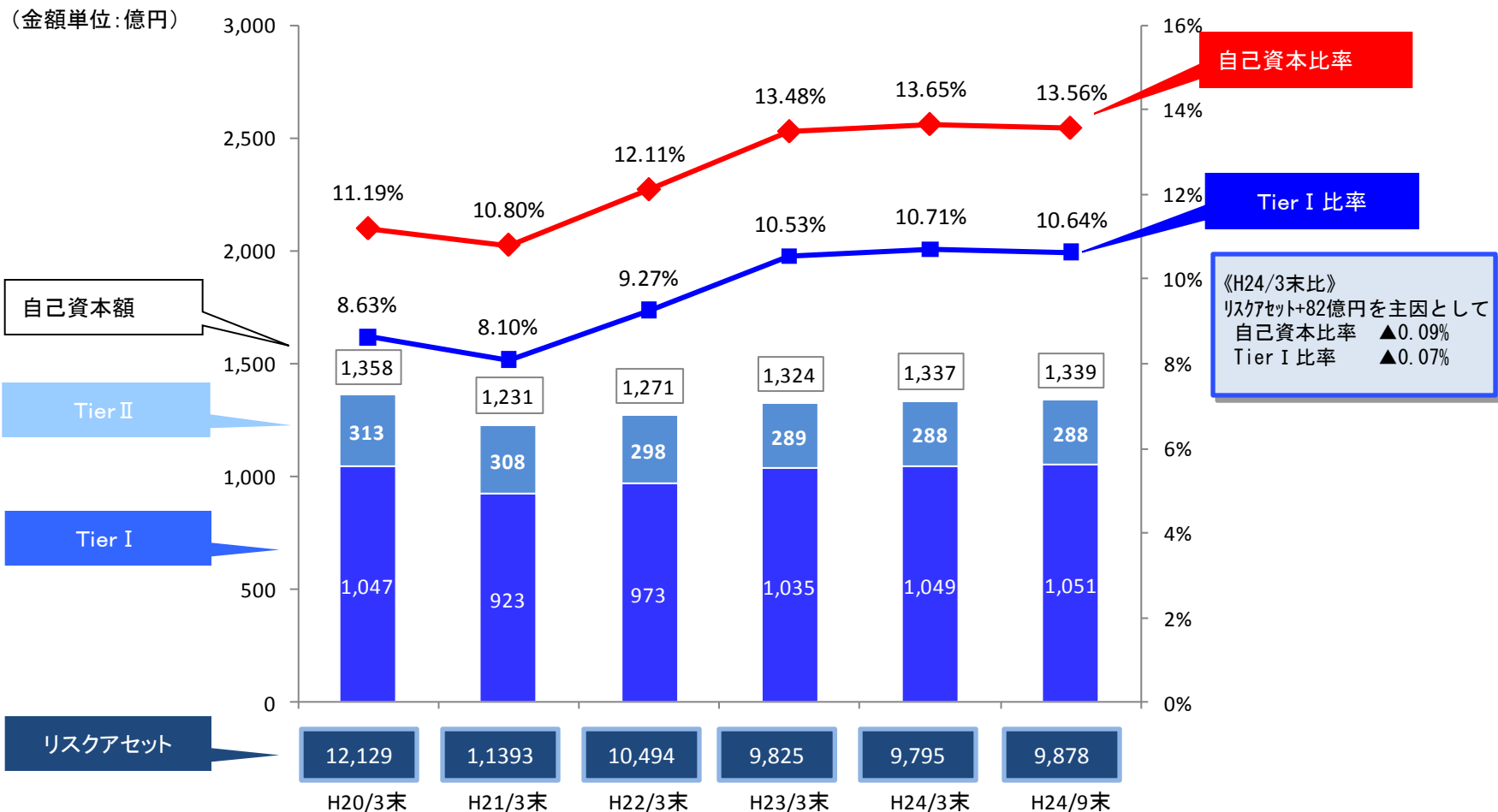
(金額単位: 億円)

	H24/9末残高	
		うち国債
米国	249	186
欧州	60	30
ドイツ	20	10
フランス	20	20
イギリス	10	—
スイス	10	—
合計	309	216

## その他有価証券デレージョン推移



# 自己資本の状況



《H24/3末比》  
 リスクアセット+82億円を主因として  
 自己資本比率 ▲0.09%  
 Tier I 比率 ▲0.07%

※ 参考

繰延税金資産の状況		億円
		H24/9末
繰延税金資産合計		116
繰延税金負債合計		55
B/S計上額		60
税効果相当額		102

H24/9末 コアTier I 比率試算 9%程度

※コアTier I = Tier I - 繰延税金資産(税効果相当額) - 無形固定資産

# 平成24年度業績予想

(金額単位:億円)

	平成23年度 実績	平成24年度 予想	増減
コア業務粗利益	352	329	△ 23
うち資金利益	318	293	△ 25
うち役務利益	36	36	0
経費	265	263	△ 2
うち人件費	128	127	△ 1
うち物件費	123	123	0
コア業務純益	87	65	△ 22

資金利益の主な増減要因

- ・貸出金利息 平残要因 +6億円  
利回要因▲22億円
- ・預金等利息 平残要因 +0億円  
利回要因 ▲2億円
- ・有価証券利息/配当金  
平残要因 +8億円  
利回要因▲18億円

経常利益	74	45	△ 29
当期純利益	29	15	△ 14
信用コスト	18	3	△ 15
自己資本比率	13.65%	13% 台	

[平成24年度予想 信用コスト内訳]

- 一般貸倒引当金繰入 6億円
- 不良債権処理額 5億円
- 偶発損失引当金戻入益等 (▲) 5億円
- 償却債権取立益 (▲) 3億円

# 配当政策

## < 配当方針 >

### 業績連動配当

【安定配当部分】 年間1株当たり6円

#### 【業績連動部分】

安定配当と業績連動配当を合わせた配当性向は25%程度を目処と考えますが、各期の具体的な業績連動部分の配当金については、その時々々の経済情勢、財務状況等を勘案し、各期の業績が明らかになった時点で決定いたします。

業績連動  
配当

+α

安定配当

6円

配当性向  
25%程度  
を目処

	平成20年度 実績	平成21年度 実績	平成22年度 実績	平成23年度 実績	平成24年度 予想
中間配当金	2円50銭	2円50銭	3円00銭	3円00銭	3円00銭
期末配当金	2円50銭	4円50銭	5円00銭	3円00銭	3円00銭
<b>年間配当金</b>	<b>5円00銭</b>	<b>7円00銭</b>	<b>8円00銭</b>	<b>6円00銭</b>	<b>6円00銭</b>
(うち業績連動配当)	( — )	(2円00銭)	(2円00銭)	( — )	( — )
一株当たり 当期純利益	△79円49銭	33円42銭	39円64銭	16円97銭	8円61銭
配当性向	—	20.9%	20.1%	35.3%	—

本資料には、将来の業績に関わる記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。